



さんだ 議会だより



平成19年11月5日 第91号
(2007年)
発行 三田市議会
編集 議会報編集委員会
三田市三輪2丁目1番1号
TEL 079-559-5162
FAX 079-564-2992
ホームページアドレス
http://www.city.sanda.lg.jp/
Eメール
gikai_u@city.sanda.lg.jp

花山院

9月定例会・10月臨時会のあらまし

9月定例会は、8月に就任した竹内英昭市長が出席する初めての議会となり、9月12日本会議第1日の会議の冒頭に市長が施政方針の説明を行いました。

その中で市長は、市民と同じ目線で「対話と信頼から市政は動く」を信念に行動すること、そして、まちづくりの方針を「市民が主役」「安全・安心」「元気なふるさとづくり」「子ども未来づくり」「責任ある改革」の5点に集約して説明しました。

また、今年5月以降欠員となっていた副市長に、吉岡正剛前三田市理事を選任する人事案件が提案され、議会は全会一致で同意しました。

9月25日、26日(本会議第2日・第3日)は、市長の施政方針などについて10人の議員が質問

を行いました。

市長から提案された議案は、市民病院の医師・看護師の確保対策に要する費用などを増額する一般会計補正予算、市の環境保全と創造に関する施策の基本的事項を定める環境基本条例など20議案。

議員からは、政務調査費の領収書提出義務を条例に明記するための政務調査費の交付に関する条例の改正など2議案を提案しました。

10月3日(本会議第4日)において、これら議案の表決を行い、議員提出議案の意見書案1件を除く21議案を可決しました。

10月臨時会では、議長、副議長など新しい議会体制を決定しました。

議会の新体制が発足

議長に今北義明議員、副議長に檜田充議員を選出

ごあいさつ

私どもは、去る10月23日の臨時会において、議長、副議長に選出されました。この職責の重さを受け止め、市政進展に全力で取り組む決意です。

さて、平成12年の地方分権一括法の施行以来、地方自治体に対する国の関与の度合いが低くなり、それぞれの自治体が独自の施策を決定、実施する時代となっています。このことは、自治体の基本的な意思決定機関である議会の役割がさらに重要になったことを意味します。

このような中、三田市議会においても、行政に対する監視機能や政策提案機能をより一層強化する必要があると見ます。また、議会は民意を反映する市民参

加の場です。三田市議会は、市民の皆様のご意見をしっかりと聴き、自立した「幸せを実感できる三田市」の実現につなげていきたいと思っております。

今後とも、市民の皆様からの御理解とご協力を心からお願い申し上げます。



副議長 檜田 充



議長 今北 義明

幸せ実感できる

まち三田へ



竹内市長の方針は?

主な内容

- 2面～4面 市政への質問(議員の一般質問)
- 2・3面 竹内市政がめざす三田市とは
- 4面 継続する課題について
- 5面 可決した議案のあらまし
- 6面 新しい議会構成・議会からのお知らせなど

政務調査費の一層の透明化 領収書提出を条例に明記

政務調査費が地方自治法で規定された平成13年度から、三田市議会では、条例上の規定はないものの、政務調査費の支出については全ての領収書を議長あて提出してきました。

このたび、政務調査費の透明性をより一層確保するため、領収書の提出義務を条例に明記し、あわせて閲覧できるよう条例改正を行いました。(施行日は12月1日)